株式会社バルカー

証券コード：7995

株主の皆さまへ

2019年3月期(第119期)

第2四半期

バルカーレポート

2018年4月1日 ▶▶ 2018年9月30日

VALUE & QUALITY

VALQUA

THE VALQUA WAY

基本理念

VALUE
&
QUALITY

（価値の創造と品質の向上）

4つの経営理念

- 社会の発展のために
- 正正堂堂と
- 世界中のステークホルダーへ
- 独創的技術で

行動指針10項

1　事業を通じた社会への貢献
2　顧客感動の提供
3　人格と個性の尊重
4　株主との信頼関係の構築
5　地域社会との共生
6　安全衛生は全てに優先
7　コンプライアンス遵守と誠実な行動
8　環境にやさしいモノづくり
9　資産の保全と有効活用
10　チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

VALUE & QUALITY

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2019年3月期 第2四半期バルカーレポートをお届けします。

折り返しを迎えた当期における日本経済は、緩やかな拡大傾向を維持したものの、一部産業においては前期末期から表れていた停滞がさらに広がりを見せる結果となりました。

また海外においては、米国の好況が続き世界経済全体のけん引役となった一方で、その米国と各国の間における通商問題は解決に向けての歩みは遅く、今後に向けて大きなリスクとして強く意識される状況になりました。

このような事業環境下にありまして当社グループは、当期から開始した第8次中期経営計画“New Valqua Stage Eight（NV・S8）”で掲げた「健全で持続的な成長の実現」に向けて、H&S企業化をはじめとする事業戦略を速やかに推進するとともに、企業基盤の整備を着実に実行しました。

本年10月1日、当社は“株式会社バルカー”として、生まれ変わりました。

これからも“新たなVALUE”と“確かなQUALITY”の創造に向かって走り続け、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

2018年12月

代表取締役社長 兼 CEO 瀧澤利一

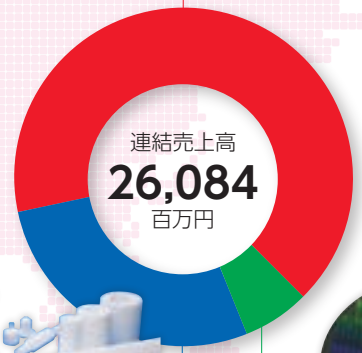
シール製品事業

売上高 17,133 百万円

売上高構成比 65.7 %

事業概況 先端産業市場に向けた売上を軸に拡大したことに加え、機器市場並びにプラント市場への販売も伸長し、売上高は171億3千3百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は26億2千2百万円（同8.6%増）となりました。

今後の展開 バルカーグループのコア事業として、グローバルな成長市場に向けての展開を加速するとともに、選択と集中を推進することにより、収益力の強化を図ってまいります。



機能樹脂製品事業

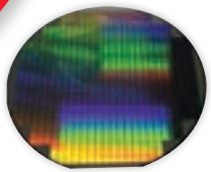
売上高 7,279 百万円

売上高構成比 27.9 %

事業概況 先端産業市場に向けた売上がサプライチェーンの整備の効果により拡大したことに加え、機器市場への販売も堅調に推移し、売上高は72億7千9百万円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益は4億1千4百万円（同123.2%増）となりました。

今後の展開 生産拠点の拡充や新たな技術の獲得に向けて、M&Aも含めた成長投資を積極的に行い、業容の拡大と収益性の向上を図ってまいります。

その他事業



売上高 1,670 百万円

売上高構成比 6.4 %

事業概況 その他事業につきましては、シリコンウエハーリサイクル事業の拡大により、売上高は16億7千万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益は1億7千万円（同22.9%増）となりました。

今後の展開 シリコンウエハーリサイクル事業における収益力の強化に加え、H&S（ハード&シールエンジニアリング・サービス）事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

Consolidated Financial Statements
連結財務諸表

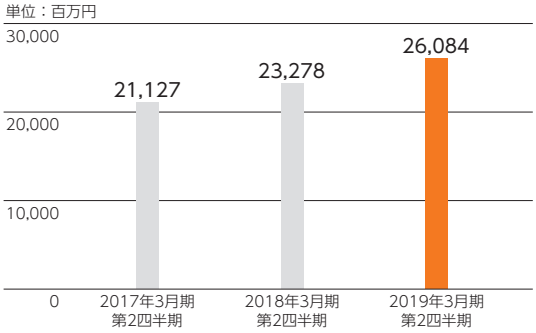
四半期連結損益計算書
単位：百万円

科目	前第2四半期累計期間 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
売上高	23,278	26,084
売上原価	14,635	16,199
売上総利益	8,643	9,884
販売費及び一般管理費	5,904	6,677
営業利益	2,739	3,207
経常利益	2,789	3,347
税金等調整前四半期純利益	2,726	3,294
四半期純利益	1,959	2,408
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,899	2,354

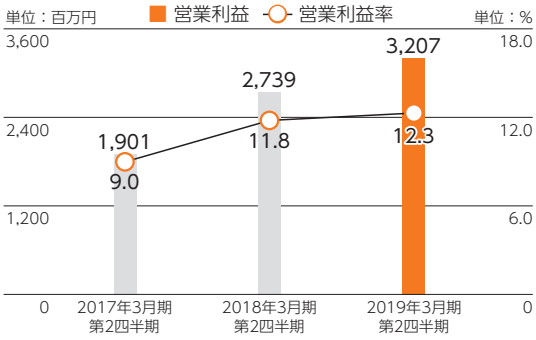
四半期連結貸借対照表
単位：百万円

科目	前期末 2018年3月31日	当第2四半期末 2018年9月30日
資産の部		
流動資産	26,943	27,254
固定資産	23,643	23,569
繰延資産	14	9
資産合計	50,600	50,834
負債の部		
流動負債	11,595	11,700
固定負債	4,413	4,271
負債合計	16,008	15,971
純資産の部		
株主資本	29,643	30,669
その他の包括利益累計額	3,394	2,657
非支配株主持分	1,554	1,535
純資産合計	34,592	34,862
負債純資産合計	50,600	50,834

売上高



営業利益 ／ 営業利益率



配 当

	中 間	期 末	年間配当
2017年3月期	*6.0 円	45.0 円	—
2017年3月期期末配当金の内訳 普通配当30.0円　創業90周年記念配当15.0円			
2018年3月期	40.0 円	45.0 円	85.0 円
2019年3月期	45.0 円	50.0 円 (予想)	95.0 円 (予想)

＊2016年10月1日付で株式併合

新たなVALUE・確かなQUALITYを
株式会社バルカー 始動

2018年10月1日、当社は社名を“株式会社バルカー”（英文表記はVALQUA, LTD.）に変更し、新たな一歩を踏み出しました。

1927年に“日本ブレーキライニング製作所”として創業した当社。1932年に“VALUE（価値）”と“QUALITY（品質）”を組み合わせた前社名“日本バルカー工業株式会社”に変更して以来、実に86年ぶりの社名変更となります。

今回の社名変更には、バルカーの基本理念である“価値の創造と品質の向上”をもとに、**“海外事業のさらなる拡大・社員のダイバーシティ化”**と**“H&S企業への脱皮”**を推し進める強い意志を込めています。

株式会社バルカーを中核会社とする新生バルカーグループは、“新たなVALUE”・“確かなQUALITY”を妥協なき姿勢で追求していきます。

新ロゴタイプ

株式会社バルカー
VALQUA, LTD.

海外事業のさらなる拡大・社員のダイバーシティ化

バルカーは、事業の海外展開を図るなかで社員構成のグローバル化も進めてきました。

今後、健全で持続的な成長を実現するためには、今まで以上の海外売上高の拡大・グローバルサプライチェーンの強化・社員のダイバーシティ化が不可欠と考えています。

H&S企業への脱皮

企業を巡る社会の変化と技術革新の速度が増すなか、お客さまのニーズも日々変化しています。

そのなかでバルカーもより大きく変身する必要があると認識し、従来の工業製品の製造・販売を通じた価値創造から“モノ・コト・ヒトを通じた価値創造”を図る企業、すなわち“H&S企業”への脱皮を図っています。

モノ・コト創りから“H&S企業化”をけん引
バルカーのR&D

創業来90余年の歴史を持つバルカーは、一貫して技術を重視し、研究開発（R&D）の充実を図ってきました。

特にここ20年の間に、バルカーのR&D体制は日本から世界へと展開するとともに、基幹産業に加えて先端産業も対象とするなど、大きくその姿を変えてきました。

“H&S企業”への脱皮を図るなかにあって、モノ・コトを創り出すR&Dの重要性は、変わらぬどころかますます高まっています。

現在のバルカーのR&Dの特長として挙げられるのが、**“分野別の開発体制”**、**“グローバルな開発拠点”**、**“外部機関・お客さまとの協働”**です。

これらにより、技術革新や環境規制など企業のR&Dを巡る状況変化に的確に対応するとともに、バルカーブランドの商品に“新たなVALUE”と“確かなQUALITY”を吹き込んでいます。

これからもバルカーのR&Dは変革を続け、時代や地域に最適な価値創造へのあくなき挑戦を続けてまいります。

お客さまの実際の使用環境等を考慮した製品開発（中国総合研究所）

先端産業市場向けR&Dを担う韓国の応用技術研究所

分野別の開発体制

機器・プラント市場向けシール製品、先端産業市場向けシール製品、機能樹脂製品、新規事業（H&S）の４軸でR&Dを推進しています。

販売部門・生産部門との強い連携により、幅広い産業のお客さまに対しVALUEとQUALITYを提供するために最適な体制となっています。

グローバルな開発拠点

国内の奈良・東京に加え、中国・韓国にR&D施設と専門組織を設置しています。また、米国には技術者が常駐し、先端産業市場の情報収集と専用製品の開発を担っています。

グローバルな体制を構築することにより、お客さまとの接点が強化され、よりスピーディーな製品開発が可能になっています。

外部機関・お客さまとの協働

“H&S企業”への脱皮を図るなかでは、従来の視点にとらわれない価値創造が必要です。そのため、世界の公的研究機関や大学等との共同研究を推進しています。

また、顧客価値の拡大に向けては、お客さまの次世代製品に組み込まれる部品の共同開発を強化しています。

会社の概況 (2018年9月30日現在)

社　名	株式会社バルカー (英文表記 VALQUA, LTD.)
創　業	昭和2年1月21日
設　立	昭和7年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	18,688,733株
株主総数	8,582名
従業員数	437名（連結　1,835名）

役　員 (2018年10月1日現在)

取締役

代表取締役社長 兼　C　E　O	瀧澤　利一
専務取締役 専務執行役員(CCO)	黒川　清敬
取締役（社外）	関　忠行
取締役（社外）	三木　緑
取締役（社外）	関根　近子

監査役

常勤監査役	林　遙
監査役（社外）	中根 堅次郎
監査役（社外）	八戸　孝彦
監査役（社外）	高橋　秀法

執行役員

専務執行役員	小田　博志
常務執行役員	浜田　浩
常務執行役員	青木　睦郎
常務執行役員	髙　昭夫
常務執行役員	森田　信利
常務執行役員	櫻井　慎也
執行役員	小川　禎
執行役員	椿山　善昭
執行役員	谷田部 麻美子
執行役員	立田　寛
執行役員	藤下　尚彦
執行役員	伏屋　克俊
執行役員	植木　聡

CEO＝最高経営責任者
CCO＝最高コンプライアンス責任者

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031
(ホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告 http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部

株式会社バルカー
〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号　ThinkPark Tower24階
TEL：03-5434-7370　FAX：03-5436-0560
URL：http://www.valqua.co.jp/

UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。